

SONY

マルチフォーマットスイッチャー XVS-9000 Multi format switcher

[XVS-9000用オプションボード]

- XKS-C9111 : 100G IP インพุットボード(SMPTE ST 2110対応)
- XKS-C9121 : 100G IP インพุット・アウトプットボード(SMPTE ST 2110対応)
- XKS-C9111N : IP インพุットボード(4K NMI対応)
- XKS-C9121N : IP インพุット・アウトプットボード(4K NMI対応)
- XKS-S9112 : 12G-SDI インพุットボード(HD-SDI・3G-SDI対応)
- XKS-S9167 : 12G-SDI アウトプットボード(HD-SDI・3G-SDI対応)
- XKS-8475 : 4K DMEボード(HDに将来対応予定)



XVS-9000



XVS-8000



XVS-7000



XVS-6000



[XVS-8000 / 7000 / 6000用オプションボード]

- XKS-C8111 : 100G IP インพุットボード(SMPTE ST 2110対応)
- XKS-C8166 : 100G IP アウトプットボード(SMPTE ST 2110対応)
- XKS-S8112 : 12G-SDI インพุットボード(HD-SDI・3G-SDI対応)
- XKS-S8167 : 12G-SDI アウトプットボード(HD-SDI・3G-SDI対応)
- XKS-8475 : 4K DMEボード(HDに将来対応予定)

※ 記載したオプションボードの型名ならびに名称は暫定です。製品開発の状況により、予告なく変更されることがあります。

BS 4K放送の開始と、これから国内での開催が待たれるスポーツイベントなどに向けて、HDと同等規模の構成で4K番組を制作する環境へのご要望が高まってきました。ソニーはこの声にお答えするべく、大規模な4K運用を可能にする新しいスイッチャープロセッサ XVS-9000を発売します。またXVS-9000と共に開発を進めている4Kに対応する入出力インターフェースやDMEを、発売済みのXVSシリーズ用でも使用できるよう、XVS-9000と同時期から順次発売します。

主な機能

大規模な4K運用に対応

4KのIPならびにSDI運用で最大80入力と40出力に、HDでは最大160入力と80出力*、ライブの大規模運用に対応します。

*入力数はビデオインターフェースボードの構成に依ります。

IPならびに12G-SDIのインターフェース

開発中の100G IPインターフェースボード*はSMPTE ST 2110 IPメディアトランスポートとAMWA NMOS デバイスディスカバリーという2つの重要な国際標準規格に適合します。この、一枚で入力と出力の双方向に使用できる100G IPインターフェースボードを使用することにより、従来よりも効率的なシステムを構築できるようになるとともに、新たに追加するデバイスの登録作業が簡便になります。さらに4K NMIに対応するIPインターフェースボードも開発中です。

また、XVS-9000と同時期に発売する新しい12G-SDI 入力ならびに出力ボードにより、XVSスイッチャーシステムで12G / 3G / 1.5G (HD) のSDI信号を一緒にあつかえるようになります。これらの12G-SDI 入力ならびに出力ボードには全ての入出力端子にフォーマット変換機能とフレームディレイ機能を標準装備していますので、様々な入出力信号に対応すると共に、IPとSDIが混在するシステムをより柔軟に構築できるようになります。

そして既存のXVS-8000、XVS-7000、XVS-6000用には専用の100G IPインターフェースボードと12G-SDIボードを発売予定です。

		XVS-9000		XVS-8000		XVS-7000		XVS-6000	
		4K	HD	4K	HD	4K	HD	4K	HD
100G IP (SMPTE ST 2110)	信号の方向	双方向		単方向		単方向		単方向	
	入力数	80	160	40	160	28	112	16	64
	出力数	40	80	12	48	12	48	6	24
IP (NMI)	信号の方向	双方向		単方向		単方向		単方向	
	入力数	60	-	40	160	28	112	16	64
	出力数	30	-	12	48	12	48	6	24
12G-SDI	入力数	80	160	40	160	28	112	16	64
	出力数	40	80	12	48	12	48	6	24
	入出力基板内蔵FC*	入力・出力		入力		入力		入力	
3G-SDI HD-SDI	入力数	40	160	40	160	28	112	16	64
	出力数	20	80	12	48	12	48	6	24
	入出力基板内蔵FC*	入力・出力		入力		入力		入力	

* FC: フォーマットコンバーター (フレームディレイ 及び フレームシンクロナイザー機能付き)

4K対応の3Dデジタルマルチエフェクツ (DME)

XVS-9000と共に開発を行っている4K DMEボードにより、XVS-9000は最大4チャンネルの4K DMEを装備できます。また、このDMEボードは他のXVSシリーズスイッチャーでも使用できます。4K DMEボードは将来HDに切り替えて使用できるようになる予定で開発を進めていますが、DME用のスロットに4K用とHD用の両方を挿して使用することもできます。

ICP-X7000コントロールパネル

XVS-9000はフルモジュラー構成や有機EL (OLED) 表示器などでご好評をいただいているICP-X7000シリーズのコントロールパネルをご利用いただけます。また、もう1台のXVS-9000あるいは他のXVSシリーズのプロセッサと組み合わせたデュアルプロセッサシステムにも対応していますので、4KとHDの同時制作システムや二重化システムを構築することができます。

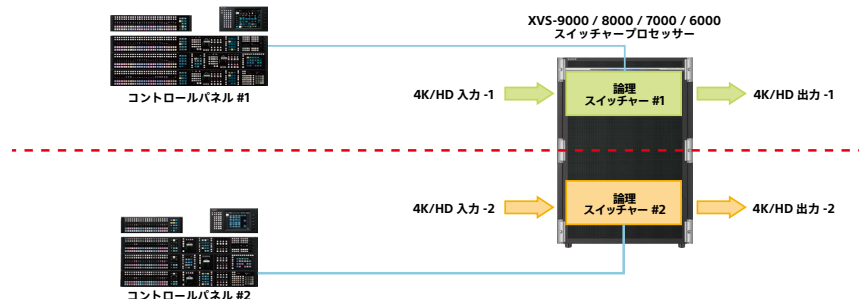


ICP-X7000

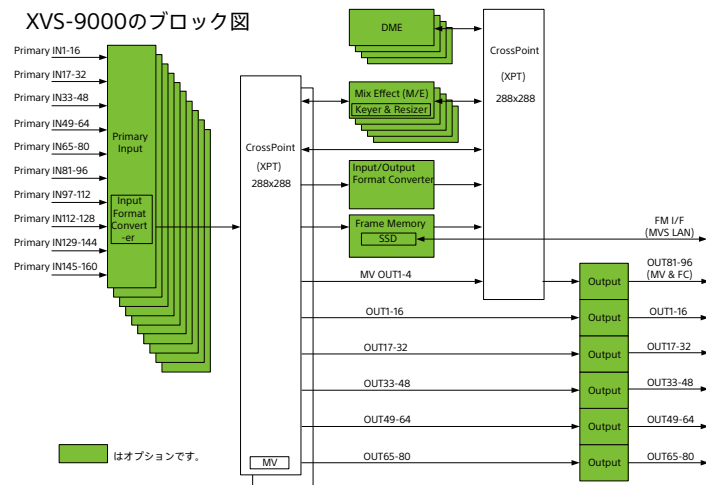
主な機能

リソースシェア機能

XVSシリーズの標準機能であるリソースシェア機能をXVS-9000でももちろん使用できます。この機能を使用することにより、1台のスイッチャープロセッサを2つの独立した論理スイッチャーに分割でき、各々の論理スイッチャーはHDとHD、4Kと4K、更にはHD(1080p)と4Kの組み合わせで使用できます。XVS-9000では4Kは最大5ME、HDは最大10MEを振り分けて使用できますが、分割時にも十分な入出力数を実現できますので、様々な運用に対応することができます。分割してできた2つの論理スイッチャーは完全に独立した2つのシステムとして扱うことができますが、各々を連動させて同期したシステムとして使用することもできますので、1台のスイッチャープロセッサでHDと4Kの同時制作システムを運用することや、内部を同じ動作で二重化させたシステムの構築ができます。



XVS-9000のブロック図



インターフェースの構成例 (リアパネル)

機能比較表

型名	XVS-9000	XVS-8000	XVS-7000	XVS-6000
ME構成	1-5*	1-5*	1-3*	1-2*
入力	最大 160入力	最大 160入力	最大 112入力	最大 64入力
アサイン出力	最大 80出力	最大 48出力	最大 48出力	最大 24出力
キーヤー	M/E毎に 最大8キーヤー (4Kモード時は 2キーヤー + 2サブキーヤー)			
DME (内蔵可能な最大数)	4K 4ch, HD 4ch	4K 2ch, HD 4ch		4K 1ch, HD 2ch
リサイザー	全てのキーヤーに装備 (4Kモード時のサブキーヤーを除く)			
マルチビューアー	最大 4系統	最大 2系統	最大 2系統	最大 2系統
プロセッサ筐体サイズ	15RU	10RU	8RU	6RU

* HDモード時はスプリットモードで最大6MEに対応 (XVS-6000は最大4ME) XVS-9000と8000はリソースシェア機能併用で各々合計10ME(6ME+4ME)まで対応
 ・リサイザー: 2.5D 簡易DME ・4K時の「サブキーヤー」はクロマキーやリサイザー機能の無いシンプルなキーヤーです。



安全に関する注意 商品に安全に使うため、使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

カタログ上の注意 ●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります ●カタログと実際の色とは印刷の関係で、多少異なる場合もあります
商標について ●SONYはソニー株式会社の商標です ●その他記載されている各社名および各商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません

ソニーウェブサイト

sony.jp/pro/

本カタログは環境に配慮した植物油インキを使用

※特定市場向け商品などソニーウェブサイトに掲載していない商品もあります

ソニー株式会社

ソニービジネスソリューション株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1-7-1
 URL <http://www.sonybsc.com>

購入に関するお問い合わせ

業務用商品購入相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-580-730

受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

製品に関するお問い合わせ(使い方、故障診断など)

フリーダイヤル ☎ 0120-788-333 携帯電話・PHS・一部のIP電話からは 050-3754-9550

受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)